



優秀賞 (居室部門)

タイトル

機能を詰め込んだ3つの小さな子供室

タイプ

持家共同建

講評

理事長賞受賞作と同企業・同系統の作品。通風、採光、収納など細かい工夫はマンションリフォームに長じた企業ならではの貴重なノウハウがうかがえる。設計者の個性をもっと強く出してもいいのではとさえ思える。

リフォーム前後の写真

リフォーム前



①リビング



②子供部屋



③長女の部屋
壁面いっぱいにシステム収納を設置しました。



④次女の部屋
廊下に向けて窓を設置し、通風、採光に出来るだけ配慮。奥行きも感じられ、小さなスペースに視覚的な効果をもたらした。



⑤内装は次女が大好きなブルーが基調。読書好きなので、壁面には本棚を多く設置。



⑦長男の部屋
デスクとコンパクトなクローゼット。ベッドは足をクローゼット下にもぐりこませて、小スペースながら機能的な子供部屋に！



⑧この窓の向こうは、リビング。いつもみんなより早く寝てしまいうけど、寂しくありません。ご両親も、様子がかいま見れて安心とのこと。



⑨スライドフックにリュックやかばんを掛けられるように。



⑩以前はパソコンとテレビが同じ壁面に並んで設置してあったが、ダイニング側にパソコン、リビング側にテレビと分けて設置したことでお互い気兼ねなく使えるようになった。



⑪玄関はカウンターを設けて開放的な雰囲気。



⑫玄関カウンター下の収納内部。少しの奥行きでも有効な収納スペースとして活用！



⑬子供室とリビングダイニング、廊下との境に窓があり、採光と通風を確保しながら、家族の気配が感じられる空間を実現。



⑮リビングの中央にエアコンの配管がむきだしに。壁の内部に隠して飾り棚にすることでリビングのアクセントになった。



⑭リビングのドアは親子ドアとし、開放つと広々とした感じに。ここは室内動線を中心と考え、少しゆったりと空間をとり、玄関から続く第二のホールになりました。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《動機》
真ん中のお嬢さん(次女・中学生)と弟さん(小学生)が一室を共有していたが、互いに遠慮して入るような感じになり、次女の高校受験までには、部屋を分けようということになった。奥様より、「小さくても、3人のそれぞれの子供部屋を作りたい。各室にベッド・収納・本棚は必要。自分自身の部屋だという意識を持って整理整頓して暮らしてもらいたい。」とのご要望をいただいた。

《設計・施工の工夫点》
LDと主寝室の広さは出来る限り確保しながら、次女と長男のスペースに愛着を持って、自ら整理整頓し、快適に過ごしているようである。

特に配慮した住宅性能
1.結露・湿気対策…外部サッシを合せ真空ガラスに交換し、北側の2室に調湿性能を持つ仕上材を使用。また、天井部に換気システムを導入。
2.次女の部屋と長男の部屋の境界壁は床先行施工とし、将来的に1室に広げやすいように配慮した。

スを配分。現実として小スペースとなり、外気や外光から遮断された密室とならないよう廊下やリビング、長男と次女の境界壁には窓を設置。この窓は通風とあかりとりに機能を発し、視界的な広がりにも効果をもたらした。また、個々の部屋で自由に過ごしながらも互いに気配を感じることが出来る。今回、小さな部屋を3室つくることで、全体が広々とした印象を失わないよう、風通しのよい開放的な空間をつくることに要点をおき、設計・施工した。打合せにはお子様にも参加していただき、それぞれの部屋の仕様を相談して決めたことで、お部屋に愛着を持って、自ら整理整頓し、快適に過ごしているようである。

データ

所在地	千葉県市川市	構造/築後年数	鉄骨鉄筋コンクリート造/19年
該当工事面積	83 m ² /総工事床面積 98 m ²	該当部分工事費	1,150 万円/総工事費 1,623 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 4人/65歳以上: 1人/15歳未満: 1人/ペット:		
設計者	大京管理(株)	担当者	石川 直美
施工者	同上	担当者	

リフォーム前



リフォーム後

